

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第1回朝霞市上下水道審議会
開催日時	令和7年6月3日（火） 午後1時30分から午後3時53分まで
開催場所	朝霞市水道庁舎 4階会議室
出席者の職・氏名	委員11人（前田会長、時枝副会長、宮林委員、獅子倉委員、黒川委員、佐藤委員、谷委員、島崎委員、市川委員、野島委員、池田委員） 事務局14人（益田上下水道部長、久保田上下水道部次長兼水道施設課長、大塚上下水道総務課長、七里下水道施設課長、吉田上下水道総務課長補佐、中村水道施設課長補佐、池田下水道施設課長補佐、櫻澤上下水道総務課経営係長、渡辺水道施設課水道工務係長、西村水道施設課水道管理係長、菅下水道施設課下水道工務係長、佐々木下水道施設課下水道管理係長、牧野上下水道総務課経営係主事、今牧上下水道総務課経営係主事補）
欠席者の職・氏名	委員3人（高野委員、孫委員、小川委員）
議題	1 議事 （1）令和7年度上下水道事業会計予算について（報告事項） （2）【諮問事項】適正な下水道使用料の検討について （3）その他

会議資料	・ 会議次第 ・ 【資料 1】 令和 7 年度（2025 年度）水道事業・下水道事業会計予算概要 ・ 【資料 2】 朝霞市の下水道事業の概要 ・ 【資料 3】 朝霞市の下水道事業会計について ・ 令和 7 年度水道事業工事予定表 ・ 令和 7 年度下水道事業工事予定表 ・ 上下水道耐震化計画（概要） ・ 諮問書（写） ・ 上下水道審議会委員名簿 ・ 席次表	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 委員全員による確認		
傍聴者の数	0 人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

開会

市長あいさつ

諮問書の手交

会長あいさつ

上下水道部長あいさつ

議題（１）令和７年度上下水道事業会計予算について（報告事項）

（大塚上下水道総務課長）

令和７年度水道事業予算について説明。

（渡辺水道施設課水道工務係長）

令和７年度水道事業工事予定について説明。

（大塚上下水道総務課長）

令和７年度下水道事業予算について説明。

（菅下水道施設課下水道工務係長）

令和７年度下水道事業工事予定について説明。

委員から意見・質問

（委員）

荒川右岸流域下水道維持管理負担金とあるが、右岸ということなので左岸もあるのか。

（七里下水道施設課長）

朝霞市は荒川右岸流域に属しており、そのほかに荒川左岸、中川流域などがあり、市によって属している流域がある。詳しくはこの後説明する。

（委員）

溝沼調整池について、令和６年度に完成している部分と令和７年度に完成する部分、もう一度説明を。

（菅下水道施設課下水道工務係長）

令和３年度から実施している溝沼調整池の工事について、池自体は令和６年８月に完成した。それに付随するポンプ場を現在建設中。併せて、雨水を引き込む管路を、雨水幹線の布設替えという形で昨年度から工事を実施しており、令和８年度に稼働予定。

(委員)

溝沼調整池とポンプ場の工事について、予定どおりに進んでいるのか。イメージとしては長い気がするが。

(七里下水道施設課長)

雨水管理総合計画にも表記されているが、令和7年度いっぱいまで工事が終わるスケジュールになっており、工事は予定どおりに進んでいる。

(委員)

予算を組み直している工事なので、私の印象では工事期間が長くなっているのかと思う。大変な費用がかかっている施設だと思うので、溝沼地区だけでなく膝折地区も含めて、浸水対策の効果をまた報告いただきたい。

(委員)

資料1について、予算の中身は置いておいて、どのくらい経営が楽なのか、厳しいのかとかがよく分からない。分かる人が見れば、不足額とか他会計補助金とかを見て、ここがお金が足りないところだなと分かるけど、市民に見せるものだから、市民が分からないと正確に状況を掴めず、今回みたいに諮問が上がってきても、市民の人たちからすればどうしたらいいのか分からないということになるので、中身の話よりは体裁に対する改善を。

(大塚上下水道総務課長)

伝え方の工夫を考える。今回の使用料改定の諮問事項についても、市民の方に丁寧に情報提供をしていく。

議題(2) [諮問事項] 適正な下水道使用料の検討について

①朝霞市の下水道事業の概要

(池田下水道施設課長補佐)

朝霞市の下水道事業の概要について説明。

委員から意見・質問

(委員)

丁寧に御説明いただくことで非常に分かりやすい。今後一般市民の方にも丁寧にやっていくことが必要かなと思う。

市全体を見たときに、下水道を使えていない調整区域と言われるエリアがあると。審議会に諮ったりする中で、内間木地区に下水道管を有して、荒川右岸の施設に行っているにも関わらず、なぜ内間木地域に下水道管を管理できないのか疑問に思う。なぜ計画がなされないのか。下水道管だけ通して、浄化水槽で管理をしてくださいというのは行政としてどういう方向性なのか。分かる範囲でお答えいただけるのであれば。

(七里下水道施設課長)

下水道については主に市街化区域を整備している。内間木地区は市街化調整区域

であることから、下水道事業では現在は整備を行っていない状況。

（委員）

内間木地区には下水道がないからというような言い方をされているが、もう一声行政が働きかければ、内間木の人たちも環境整備をできるのでは。市街化区域から外されているのは、いまいち納得がいかない。

（益田上下水道部長）

内間木地域の雨水浸水対策など少しずつやり始めているが、端的に言うと、下水道等の整備は都市計画税をもって充てるとなっている。市街化調整区域と市街化区域の大きな違いは、都市計画税がかかっているか、かかっていないかになる。そのほか、工事をやるときに国からの補助金等を貰えるが、市街化調整区域にやろうとする場合は全額自己負担になってしまう。そういった制約があり、できていない状況である。

（委員）

恐らく県の話だと思うが、汚水から発生するガスはどのように使っているのか。

（池田下水道施設課長補佐）

埼玉県荒川右岸下水道事務所から直接聞いたわけではなく、国土交通省等の資料などを読み込んでの説明になるが、汚泥を脱水して、汚泥ケーキと呼ばれるスポンジ状のほぼ水分がなくなったものを肥料として使う。泥の中にリンや窒素が含まれており、肥料として非常に有効である。また、発生したメタンガスから発電させる。汚泥を脱水、償却、蒸発させたりするのにもそのガスの一部を使用しているという話もある。

（委員）

朝霞市の中で、ここは早めに修繕しなければいけないという場所はあるか。また、どのような工法で修繕されるのか。

（池田下水道施設課長補佐）

ストックマネジメント計画は六つのブロックに分かれており、一つのブロックが大体5年間。その中でカメラ調査を行い、どこが良いか悪いかを選別する。悪いところは、翌年実施設計し、残りの4年間でそのエリアを工事していく。令和6年度は、資料2の23ページの赤色部分の第1期の工事をした。今年度は第2期として調査を行っており、これから設計を予定している。

工事の工法について、一つは掘って管を入れ替える方法。この方法は主に小さい管などで行う。もう一つは、中にスパイラル状のものや長い風船のようなものを入れて、内側からコーティングする方法などがある。

硫化水素の発生しやすい場所は、水の流れがなく、よどんでいるところになるため、川を越える伏越と呼ばれる場所や鉄道の下、大きな落差があるところが考えられる。

議題（２）〔諮問事項〕 適正な下水道使用料の検討について

②朝霞市の下水道事業会計について

③全体スケジュールについて

(櫻澤上下水道総務課経営係長)

朝霞市の下水道事業会計について説明後、全体スケジュールについて説明。

委員から意見・質問

(委員)

何が厳しいか数字で読み取れない。例えば8ページの年度末資金残高は増え続けている、経営が苦しいなんてよく分からない。前のページで黒字と赤字が出ているので、差し引けば1億円くらい赤字なのは分かるけども、結局資金は残っているわけだから、このまま素直に読んでしまうと、まだ大丈夫という話になる。大丈夫ではない数字が出ているはずなのに、どうしてそれが載っていないのか。

一般会計繰入金当たり前のように書いてあるが、原則やってはいけない、雨水処理だけ税金を入れていいということをちゃんと整理して言わないと、料金をどういう水準にしないといけないのかという議論ができない。いくらでも税金を入れていいんだという話をしまえば、とめどない議論ができてしまう。そこが大事ではないかと感じている。

(大塚上下水道総務課長)

今回の資料は、下水道事業会計について皆さんに知ってもらおうというものになっており、今は令和6年度の決算見込み額までしか出ていないため、資金に余りがあるという話になってしまうが、下水道使用料の現状に加えて、令和7年度以降の流域下水道維持管理負担金の値上げや、令和8年度から基準外繰入を0円にすること、資機材や人件費の高騰で事業費も増加していることを考えて今後10年間の財政収支計画を見たときに、どういう資金繰りになるのかというところを第2回目以降の審議会で説明する予定。

(委員)

端的に言って、資金は増えているが借金はもっと増えているというのが載っていないのでは。それが分からないと危機感が伝わらない。下水道の売上高8億円に対して、50億円くらい借金がある。普通の企業なら経営が成り立たないことになってしまう。やはり資金残高だけ見たら大丈夫だと思ってしまうので、工事をやるに当たってそれに見合う収入がないというのが分からないと、誰でも料金改定は嫌だから、なんで料金改定するのかとなってしまいます。

(大塚上下水道総務課長)

こちらに関しても第2回以降の審議会で説明したい。

(委員)

上水道の料金改定も経験したが、今回の全体スケジュールを見てかなりハードだなという印象。第4回までにパネル展を実施するとあるが、これに関しては、何をどのようにするのか。市民向けに対する案内はどうするのか。

(大塚上下水道総務課長)

第3回の審議会後、パネルを使用したオープンハウス形式の住民説明会を実施したいと考えている。日程は、人が多く集まるようなイベントのときに開催したい。内

容は、普段あまり知ることがない下水道事業についての説明、展示や、事業にどれくらいのお金がかかっていて、本市の下水道事業の経営がどのような状況なのかを説明し、料金改定の必要性を説明したいと考えている。

(委員)

パネル展についてまだ決まっていらないと思うが、今の想定ではどのエリアで、どのくらいの期間、何回くらいを予定しているのか。

(大塚上下水道総務課長)

朝霞駅方面と朝霞台駅方面を今のところ考えている。

(会長)

水道料金の改定の時も、コミュニティセンターと産業文化センターでやった記憶がある。今回もそういう形でやられるのかなと。先ほどプロジェクターで説明してもらったようなことを、出前講座でやるのも分かりやすいと思う。

(委員)

下水道に関しては県の値上げを受けてということと、そもそもの経営状態がということで、今回諮問があったが、上水道も来年4月から逆ざやになる。独立採算なので料金の中で帳尻を合わせるしかないと思うが、それについては何も議論しなくていいのか。今は下水道だけか。

(大塚上下水道総務課長)

水道料金は、令和4年度に料金改定を行ったことで下水道事業と若干状況が異なり、令和8年から県水の値上げがあるが、下水道事業と比べてまだ少し余力がある状況。今後、令和6年度決算も踏まえて検討したいと考えている。

(委員)

水道料金の改定はかなり時間を費やして市民に理解を求めた。そういう経緯がある中で、ちょうど今そういう意見が出ているにも関わらず、認識的に甘いのではないのか。

下水道に関してもやらなきゃいけないが、同時に上水道に関しても分かっている範囲であれば、今の御意見に伴って準備をしていかなければいけないというのが、この段階で分かっているのだから、そういった部分の計画は立てていかなければいけないのかなと。最終的に市民の生活を踏まえた上で真剣に取り組んでほしい。

議題(3) その他

(久保田上下水道部次長兼水道施設課長)

朝霞市上下水道耐震化計画について説明。

委員から意見・質問

(委員)

ニュートラルビズが実施されて職員の服装が変わったと冒頭で話があったが、上下水道部職員は現場にも行くと思うが、その際はどのような格好か。

(久保田上下水道部次長兼水道施設課長)
現場は支給されている作業着で向かう。

(委員)

良い取組だと思うが、市民から、職員かどうかの区別がつかないだとか、現場で作業員が暑い中でもきちんとした格好をしている中で、来る職員がラフ過ぎると良くないと思うので、安全管理に十分配慮したうえで対応いただければと思う。

(委員)

上下水道耐震化計画について、これは自前でやるのかコンサルが入るのか。

(久保田上下水道部次長兼水道施設課長)

整備計画書はどの自治体も自分たちで作成をしている。

事務局から連絡事項

閉会